



伊豆沼 サンクチュアリセンターニュース

Sanctuary Center News

Vol.114
令和元年度12月号

11月3日にガンの飛び立ち観察会 & ラムサール湿地見学ツアーを開催しました。伊豆沼では2万羽を超えるマガンの飛び立ちを観察しました。朝食後には、同じラムサールサイトである蕪栗沼、化女沼を巡り、様々な種類の水鳥を観察しました。

豊田合成東日本(株)が伊豆沼で環境保全活動

秋本番を迎えた10月27日、豊田合成東日本株式会社と関連企業の皆様によるCSR活動が行なわれました。「社会・地球の持続可能な発展への貢献」を目的としたもので、今回の活動では、休耕田の畔を利用した木道整備と、周辺のヨシ刈りを行ない、当初の予定を上回る30mの木道が整備されました。整備が進んだ伊豆沼の植物園に、是非足をお運び下さい。



サンクチュアリ友の会芋煮会

11月4日(月)に、若柳ラムサール公園で、サンクチュアリ友の会、芋煮会を開催し、50人の参加者が集いました。芋煮の他に、伊豆沼で獲れたエビの搔揚げ・コイの甘露煮・ナマズやライギョの唐揚げなどを、食べながら、老若男女が終始、和やかな雰囲気でした。



ナマズの唐揚げ

エビのかき揚げ



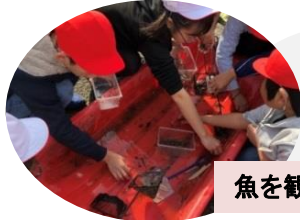
調理中

たくさんの料理

楽しい食事の時間

地元小学生向けに出前講座をしました！

伊豆沼に最も近い場所にある新田小学校4年生と5年生向けに出前講座を開講しました。4年生には渡り鳥の話を、5年生には沼の魚の話をしました。魚の話では、実際に沼に設置した定置網を揚げ、大きな魚も獲れて、子ども達は大はしゃぎ。たくさんの魚に触れたこの体験が、子ども達にとって良い思い出になるとともに、将来、地域を支える動機となる原体験になればと思っています。



魚を観察しています



魚の解説をしています



テナガエビ

第2回水鳥モニタリング国際シンポジウムに参加しました。

東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ (EAAFP) のガンカモ類ワーキンググループ (AWG) による「第2回水鳥モニタリング国際シンポジウム」が2019年10月14日から18日にかけて北京で開催されました。このシンポジウムでは、東アジアにおける水鳥の研究と保全の最新の状況について、中国、ロシア、韓国、モンゴル、日本などから報告があり、分布域、渡り経路と個体群構造、個体群動態について、各国の代表者が最新の知見を持ち寄って議論しました。当財団の嶋田からは、日本で行われているガンカモ類の衛星追跡の総括を発表しました。



第29回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

募集中!

伊豆沼・内沼の自然とそれにふれあう人々を題材として伊豆沼・内沼の環境保全の重要性を啓発することを目的に、「伊豆沼・内沼の自然」「伊豆沼・内沼にかかわる人々」のいずれかをとらえた作品を題材として、開催します。伊豆沼・内沼(堤防から目視出来る範囲)で撮影した未発表の作品1人1点を、12月1日～28日(郵送の場合は28日の消印有効)まで、下記事務局へご応募下さい。最優秀賞10万円、ほか各賞あり。



伊豆沼・内沼生き物図鑑 カキノキ (*Diospyros kaki*)

カキノキは、東南アジア固有の植物です。わが国においても人里を中心に広くみられます。

カキノキは、果実としてよく知られていますが、実は唐木の銘木として名高い黒檀(コクタン、エボニー)の仲間です。千年以上も前より高級な工芸品に使用されてきました。このように昔から親しまれてきたカキノキですが、謎の多い植物でもあります。

カキノキは中国原産と言われ、伊豆沼などに生えている株は、栽培されたカキノキが野生化したものと考えられています。



新職員の紹介



業務補助 今野 秀一

犬が大好きです。伊豆沼・内沼の魅力をお伝えします。

